



## 2021年2月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2020年10月7日

上場会社名 株式会社ベルシステム24ホールディングス 上場取引所 東  
 コード番号 6183 URL <https://www.bell24hd.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員CEO (氏名) 野田 俊介  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 執行役員 (氏名) 辻 豊久 (TEL) 03-6893-9827  
 四半期報告書提出予定日 2020年10月8日 配当支払開始予定日 2020年11月13日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

## 1. 2021年2月期第2四半期の連結業績 (2020年3月1日～2020年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年2月期第2四半期	66,871	6.1	6,623	12.6	6,416	14.3	4,286	13.9	4,250	14.7	4,160	10.8
2020年2月期第2四半期	63,036	4.9	5,880	10.0	5,614	11.6	3,764	14.8	3,707	13.7	3,754	13.4
	基本的1株当たり四半期利益		希薄化後1株当たり四半期利益									
	円 銭		円 銭									
2021年2月期第2四半期	57.82		57.43									
2020年2月期第2四半期	50.42		50.06									

## (2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2021年2月期第2四半期	172,252	52,103	51,766	30.1
2020年2月期	168,508	49,537	49,168	29.2

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年2月期	—	21.00	—	21.00	42.00
2021年2月期	—	21.00	—	—	—
2021年2月期(予想)	—	—	—	21.00	42.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 2021年2月期の連結業績予想 (2020年3月1日～2021年2月28日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		当期利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	132,000	4.2	11,500	3.6	11,050	4.9	7,290	2.8	7,200	2.8	97.94

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

詳細につきましては、添付資料4ページ「(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更
- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年2月期2Q	73,617,320株	2020年2月期	73,617,320株
② 期末自己株式数	2021年2月期2Q	95,618株	2020年2月期	100,438株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年2月期2Q	73,519,241株	2020年2月期2Q	73,516,616株

(注) 役員報酬BIP信託に係る信託口が所有する当社株式95,467株を自己株式として処理しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その実現を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項については、添付資料4ページをご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	11
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における日本経済は、一部で持ち直しの動きがみられるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により依然として厳しい状況が続いております。特に、観光業、飲食業への影響は甚大なものとなりました。一方で在宅勤務や巣ごもり需要により、今までとは異なる生活形態から新たな需要が出てきております。また、雇用・所得環境においては、事業環境の厳しさから完全失業率は僅かに上昇しており、上昇を続けてきた賃金水準も横ばい圏内での推移となっております。

当社グループが属する情報サービス業界は、アウトソーシング需要の高まりを受け、市場規模は堅調に推移しております。また、コミュニケーション手段の急速な技術革新に伴い、消費者との対話においてもAI（人工知能）等の導入による自動化が始まる等、カスタマーサービス分野において、なお一層のサービスの高度化が求められております。一方で、当社グループの主力事業であるCRM（Customer Relationship Management）事業においては、同一労働同一賃金への対応により賃金の上昇が続いております。

このような経営環境の下、当社グループは中期経営計画として、「社員3万人の戦力最大化」「音声データ活用によるDX推進」「信頼と共創のパートナー成長」の実現に取り組んでまいります。

当第2四半期連結累計期間においては、長年蓄積したコンタクトセンター現場での運用ノウハウと、AI・自然言語処理・アナリティクス・ビッグデータなど新たな技術領域を組み合わせた「機械知能（Machine Intelligence）」の独自開発による、「ヒト」と「新技術」を融合させた「次世代コンタクトセンター」の創出を目的に「イノベーション&コミュニケーションサイエンス研究所(以下：ICS Lab.)」を当社内に設立しました。

それに伴い、コンタクトセンター業務での利用に特化した高精度なAI検索エンジン「Mopas™（モepas）」と、AINレッジメンテナンス機能「Knowledge Creator™（ナレッジクリエーター：特許出願中）」で構成され、顧客からのメールでの問い合わせ対応業務の効率化につなげる、独自開発のAI（人工知能）技術サービスの提供を開始しております。

また、従来はコミュニケーターによる電話対応が必要であったコンタクトセンターの一次受付や、資料請求・予約受付など定型的な受付業務を、人の手を介さず自動音声で応答できるボイスボットプロダクトのエントリーモデル「ekubot™」を提供開始しております。

各セグメントの業績は以下の通りであります。

なお、2019年11月1日に、株式会社ビーアイメディカル（以下、「㈱ビーアイメディカル」と言う。）の医薬・ヘルスケア分野のコンタクトセンター事業及び医薬品・医療機器の開発支援事業と、㈱ベルシステム24の進めるAI等の新技術を活用したCRM事業とを連携させることによる人材や事業拠点といった経営資源の最適配置と効率的なグループ運用体制の構築を図ることを目的として、連結子会社間の吸収合併を行いました。

これに伴い、前第3四半期連結累計期間より、これまで「その他」に含めていた㈱ビーアイメディカルの医薬・ヘルスケア分野のコンタクトセンター事業及び医薬品・医療機器の開発支援事業を、「CRM事業」に含めて開示しております。また、前年同期におけるセグメント情報を修正再表示しております。

## (CRM事業)

新型コロナウイルスの感染拡大による影響があったものの、社会インフラとしてのスポット需要及び前連結会計年度から業務開始した既存継続案件の売上が拡大した他、伊藤忠商事株式会社（以下、「伊藤忠商事㈱」と言う。）及び凸版印刷株式会社（以下、「凸版印刷㈱」と言う。）との協業強化によるシナジー案件も堅調に推移したこと等により、売上収益は前年同期比で増収となりました。利益面では、同一労働同一賃金により人件費が上昇するなか、増収による利益の伸長に加え、収益改善活動による効果等もあり、税引前四半期利益は前年同期比で増益となりました。

この結果、CRM事業の売上収益は662億69百万円（前年同期比6.6%増）、税引前四半期利益は63億11百万円（同13.0%増）となりました。

## (その他)

前連結会計年度にその他事業に含まれていたCSO事業を事業譲渡した影響、及びコンテンツ販売収入の減少等により、その他のセグメントの売上収益は6億2百万円（前年同期比31.3%減）、税引前四半期利益は1億30百万円（同162.8%増）となりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上収益は668億71百万円（前年同期比6.1%増）、税引前四半期利益は64億16百万円（同14.3%増）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は42億50百万円（同14.7%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 資産、負債及び資本の状況

	2020年2月期 (百万円)	2021年2月期 第2四半期 連結会計期間 (百万円)	増減額 (百万円)
資産合計	168,508	172,252	3,744
負債合計	118,971	120,149	1,178
親会社所有者帰属持分比率 (%)	29.2	30.1	—

流動資産は、未収還付法人所得税が2億74百万円及び現金及び現金同等物が2億23百万円減少しましたが、営業債権が6億29百万円及びその他の流動資産が1億61百万円それぞれ増加したため、前連結会計年度末より3億65百万円増加し、273億22百万円となりました。

非流動資産は、無形資産が3億80百万円減少しましたが、有形固定資産が33億72百万円、持分法で会計処理されている投資が2億44百万円及びその他の長期金融資産が1億8百万円それぞれ増加したため、前連結会計年度末より33億79百万円増加し、1,449億30百万円となりました。

これらにより、資産合計は前連結会計年度末より37億44百万円増加し、1,722億52百万円となりました。

流動負債は、営業債務が7億49百万円及びその他の流動負債が18億48百万円それぞれ減少しましたが、借入金126億円及び未払法人所得税が10億70百万円それぞれ増加したため、前連結会計年度末より111億12百万円増加し、490億70百万円となりました。

非流動負債は、その他の長期金融負債が33億26百万円及び引当金が1億40百万円それぞれ増加しましたが、長期借入金が134億16百万円減少したため、前連結会計年度末より99億34百万円減少し、710億79百万円となりました。

これらにより、負債合計は前連結会計年度末より11億78百万円増加し、1,201億49百万円となりました。

資本は、前連結会計年度末より25億66百万円増加し、521億3百万円となりました。これは主に親会社の所有者に帰属する四半期利益の計上により配当支払い後の利益剰余金が27億6百万円増加したことによるものであります。

## ② キャッシュ・フローの状況の分析

	2020年2月期 第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	2021年2月期 第2四半期 連結会計期間末 (百万円)	増減額 (百万円)
営業活動によるキャッシュ・フロー	8,053	6,664	△1,389
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,015	△1,742	△727
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,023	△5,139	△116
現金及び現金同等物の期末残高	8,077	7,544	△533

当第2四半期連結会計期間末現在における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ2億23百万円減少し、75億44百万円となりました。当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は以下のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は、66億64百万円となりました（前年同期は80億53百万円の収入）。これは主に、税引前四半期利益が64億16百万円、減価償却費及び償却費が37億84百万円、法人所得税の支払額が27億24百万円、営業債権の増加が6億29百万円及び未払消費税の減少が5億4百万円がそれぞれ生じたこと等によるものであります。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は、17億42百万円となりました（前年同期は10億15百万円の支出）。これは主に、有形固定資産の取得による支出が10億4百万円、持分法投資の取得による支出が2億94百万円、敷金及び保証金の差入による支出が2億33百万円及び無形資産の取得による支出が2億30百万円それぞれ生じたこと等によるものであります。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は、51億39百万円となりました（前年同期は50億23百万円の支出）。これは主に、リース負債の返済による支出が26億62百万円、配当金の支払額が15億44百万円、長期借入金の返済による支出が14億68百万円それぞれ生じたこと等によるものであります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2020年7月8日に発表いたしました通期の連結業績予想については変更ありません。

なお、本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社グループが合理的と判断する一定の前提に基づいて作成したものであり、リスクや不確定要素を含んだものです。実際の業績は、様々な重要な要素により、業績予想と大きく異なる結果となりうることをご承知おきください。

## 2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 要約四半期連結財政状態計算書

	前連結会計年度 2020年2月29日	(単位：百万円) 当第2四半期連結会計期間 2020年8月31日
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	7,767	7,544
営業債権	17,967	18,596
未収還付法人所得税	274	—
その他の短期金融資産	46	118
その他の流動資産	903	1,064
流動資産合計	26,957	27,322
非流動資産		
有形固定資産	32,674	36,046
のれん	96,250	96,250
無形資産	3,323	2,943
持分法で会計処理されている投資	1,584	1,828
繰延税金資産	1,941	1,971
その他の長期金融資産	5,735	5,843
その他の非流動資産	44	49
非流動資産合計	141,551	144,930
資産合計	168,508	172,252

	(単位：百万円)	
	前連結会計年度 2020年2月29日	当第2四半期連結会計期間 2020年8月31日
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務	6,144	5,395
借入金	10,436	23,036
未払法人所得税	1,265	2,335
未払従業員給付	9,941	9,967
その他の短期金融負債	5,112	5,125
その他の流動負債	5,060	3,212
流動負債合計	37,958	49,070
非流動負債		
長期借入金	57,742	44,326
引当金	1,715	1,855
長期未払従業員給付	302	318
繰延税金負債	96	96
その他の長期金融負債	21,156	24,482
その他の非流動負債	2	2
非流動負債合計	81,013	71,079
負債合計	118,971	120,149
資本		
資本金	27,033	27,033
資本剰余金	3,436	3,433
その他の資本の構成要素	△82	△197
利益剰余金	18,984	21,690
自己株式	△203	△193
親会社の所有者に帰属する持分合計	49,168	51,766
非支配持分	369	337
資本合計	49,537	52,103
負債及び資本合計	168,508	172,252



## (2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

## 要約四半期連結損益計算書

## 第2四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	当第2四半期連結累計期間 自 2020年3月1日 至 2020年8月31日
売上収益	63,036	66,871
売上原価	△50,375	△53,062
売上総利益	12,661	13,809
販売費及び一般管理費	△6,736	△7,267
その他の収益	71	139
その他の費用	△116	△58
営業利益	5,880	6,623
持分法による投資損益	28	58
金融収益	66	78
金融費用	△360	△343
税引前四半期利益	5,614	6,416
法人所得税費用	△1,850	△2,130
四半期利益	3,764	4,286
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	3,707	4,250
非支配持分	57	36
四半期利益	3,764	4,286

(単位：円)

## 1株当たり四半期利益

基本的1株当たり四半期利益	50.42	57.82
希薄化後1株当たり四半期利益	50.06	57.43

## 第2四半期連結会計期間

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結会計期間 自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	当第2四半期連結会計期間 自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
売上収益	32,196	34,193
売上原価	△25,802	△26,878
売上総利益	6,394	7,315
販売費及び一般管理費	△3,401	△3,745
その他の収益	24	55
その他の費用	△57	△53
営業利益	2,960	3,572
持分法による投資損益	15	36
金融収益	66	78
金融費用	△185	△171
税引前四半期利益	2,856	3,515
法人所得税費用	△949	△1,157
四半期利益	1,907	2,358
四半期利益の帰属：		
親会社の所有者	1,890	2,329
非支配持分	17	29
四半期利益	1,907	2,358

(単位：円)

1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	25.70	31.68
希薄化後1株当たり四半期利益	25.52	31.44

## 要約四半期連結包括利益計算書

## 第2四半期連結累計期間

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	当第2四半期連結累計期間 自 2020年3月1日 至 2020年8月31日
四半期利益	3,764	4,286
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産で生じた利得(損失)	3	△71
合計	3	△71
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△13	△5
持分法によるその他の包括利益	—	△50
合計	△13	△55
その他の包括利益合計(税引後)	△10	△126
四半期包括利益	3,754	4,160
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	3,697	4,124
非支配持分	57	36
四半期包括利益	3,754	4,160

## 第2四半期連結会計期間

	(単位：百万円)	
	前第2四半期連結会計期間 自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	当第2四半期連結会計期間 自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
四半期利益	1,907	2,358
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産で生じた利得(損失)	2	△71
合計	2	△71
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	△19	1
持分法によるその他の包括利益	—	50
合計	△19	51
その他の包括利益合計(税引後)	△17	△20
四半期包括利益	1,890	2,338
四半期包括利益の帰属：		
親会社の所有者	1,873	2,309
非支配持分	17	29
四半期包括利益	1,890	2,338

## (3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	その他の資本 の構成要素	利益剰余金
2019年3月1日現在	27,033	4,137	△72	14,845
四半期利益	—	—	—	3,707
その他の包括利益	—	—	△10	—
四半期包括利益合計	—	—	△10	3,707
株式報酬取引	—	—	9	—
剰余金の配当	—	—	—	△1,323
非支配持分株主との取引	—	△700	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△1	—	—
所有者との取引等合計	—	△701	9	△1,323
2019年8月31日現在	27,033	3,436	△73	17,229

	自己株式	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2019年3月1日現在	△206	45,737	755	46,492
四半期利益	—	3,707	57	3,764
その他の包括利益	—	△10	—	△10
四半期包括利益合計	—	3,697	57	3,754
株式報酬取引	—	9	—	9
剰余金の配当	—	△1,323	—	△1,323
非支配持分株主との取引	—	△700	△469	△1,169
自己株式の取得	△0	△0	—	△0
自己株式の処分	3	2	—	2
所有者との取引等合計	3	△2,012	△469	△2,481
2019年8月31日現在	△203	47,422	343	47,765

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

(単位:百万円)

	資本金	資本剰余金	その他の資本 の構成要素	利益剰余金
2020年3月1日現在	27,033	3,436	△82	18,984
四半期利益	—	—	—	4,250
その他の包括利益	—	—	△126	—
四半期包括利益合計	—	—	△126	4,250
株式報酬取引	—	—	11	—
剰余金の配当	—	—	—	△1,544
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	△0	0
自己株式の取得	—	—	—	—
自己株式の処分	—	△3	—	—
所有者との取引等合計	—	△3	11	△1,544
2020年8月31日現在	27,033	3,433	△197	21,690

	自己株式	親会社の 所有者に 帰属する 持分合計	非支配持分	資本合計
2020年3月1日現在	△203	49,168	369	49,537
四半期利益	—	4,250	36	4,286
その他の包括利益	—	△126	—	△126
四半期包括利益合計	—	4,124	36	4,160
株式報酬取引	—	11	—	11
剰余金の配当	—	△1,544	△68	△1,612
その他の資本の構成要素 から利益剰余金への振替	—	—	—	—
自己株式の取得	△0	△0	—	△0
自己株式の処分	10	7	—	7
所有者との取引等合計	10	△1,526	△68	△1,594
2020年8月31日現在	△193	51,766	337	52,103

## (4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	当第2四半期連結累計期間 自 2020年3月1日 至 2020年8月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	5,614	6,416
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費及び償却費	3,451	3,784
固定資産除売却損益(△は益)	54	54
子会社株式売却損益(△は益)	△21	—
事業譲渡損益(△は益)	49	—
持分法による投資損益(△は益)	△28	△58
金融収益	△66	△78
金融費用	360	343
営業債権の増減額(△は増加)	△1,352	△629
営業債務の増減額(△は減少)	538	△210
未払消費税の増減額(△は減少)	452	△504
その他	1,418	190
小計	10,469	9,308
利息及び配当金の受取額	86	78
利息の支払額	△281	△272
法人所得税の支払額	△3,291	△2,724
法人所得税の還付額	1,070	274
営業活動からの正味キャッシュ・フロー	8,053	6,664
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△375	△1,004
無形資産の取得による支出	△559	△230
有価証券の取得による支出	△100	—
有価証券の売却による収入	—	0
持分法投資の取得による支出	—	△294
敷金及び保証金の差入による支出	△187	△233
敷金及び保証金の回収による収入	3	13
事業譲渡による収入	127	—
連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	76	—
政府補助金による収入	—	6
その他	△0	△0
投資活動からの正味キャッシュ・フロー	△1,015	△1,742
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の増減額(△は減少)	4,300	600
長期借入れによる収入	6,000	—
長期借入金の返済による支出	△10,468	△1,468
配当金の支払額	△1,326	△1,544
非支配持分への配当金の支払額	—	△68
自己株式の売却による収入	—	3
自己株式の取得による支出	△0	△0
リース負債の返済による支出	△2,362	△2,662
連結範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	△1,169	—
その他	2	—
財務活動からの正味キャッシュ・フロー	△5,023	△5,139
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	△6
現金及び現金同等物の正味増減額(△は減少)	2,015	△223
現金及び現金同等物の期首残高	5,971	7,767
売却目的で保有する資産に含まれる現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	91	—
現金及び現金同等物の四半期末残高	8,077	7,544

## (5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち、分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う事業セグメントを基礎に決定されております。なお、当社グループの事業セグメントは、CRM事業及びその他事業から構成されており、サービスの種類、性質、販売市場等から総合的に区分しております。

当社グループは、主にコンタクトセンター運営及びその付帯業務を取り扱うCRM事業で構成されております。当社グループの収益、純損益の絶対額及び資産の金額のいずれにおいても、大部分が当該事業から構成されております。そのため、報告セグメントはCRM事業のみとしております。

セグメント間の振替価格は、第三者との取引に準じた独立当事者間取引条件に基づいて行っております。

なお、2019年11月1日に、㈱ビーアイメディカルの医薬・ヘルスケア分野のコンタクトセンター事業及び医薬品・医療機器の開発支援事業と、㈱ベルシステム24の進めるAI等の新技術を活用したCRM事業とを連携させることによる人材や事業拠点といった経営資源の最適配置と効率的なグループ運用体制の構築を図ることを目的として、連結子会社間の吸収合併を行いました。

これに伴い、前第3四半期連結累計期間より、これまで「その他」に含めていた㈱ビーアイメディカルの医薬・ヘルスケア分野のコンタクトセンター事業及び医薬品・医療機器の開発支援事業を、「CRM事業」に含めて開示しております。また、前年同期におけるセグメント情報を修正再表示しております。

当社グループの報告セグメント情報は以下の通りであります。

前第2四半期連結累計期間(自2019年3月1日至2019年8月31日)

	CRM事業	その他	調整及び消去	(単位:百万円) 連結
売上収益				
外部収益	62,160	876	—	63,036
セグメント間収益(※)	—	106	△106	—
売上収益合計	62,160	982	△106	63,036
その他の損益				
減価償却費及び償却費	△3,437	△14	—	△3,451
持分法による投資損益	28	—	—	28
金融収益	66	0	—	66
金融費用	△360	△0	—	△360
報告セグメントの税引前四半期利益	5,587	49	△22	5,614

(※) セグメント間収益は連結時に消去され、「調整及び消去」の欄に含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自2020年3月1日至2020年8月31日)

	CRM事業	その他	調整及び消去	(単位:百万円) 連結
売上収益				
外部収益	66,269	602	—	66,871
セグメント間収益(※)	—	183	△183	—
売上収益合計	66,269	785	△183	66,871
その他の損益				
減価償却費及び償却費	△3,772	△12	—	△3,784
持分法による投資損益	58	—	—	58
金融収益	78	0	—	78
金融費用	△343	—	—	△343
報告セグメントの税引前四半期利益	6,311	130	△25	6,416

(※) セグメント間収益は連結時に消去され、「調整及び消去」の欄に含まれております。



## (1株当たり利益)

基本的1株当たり四半期利益の金額は、親会社の普通株主に帰属する四半期利益を、当四半期連結累計期間における基本的加重平均発行済普通株式数で除して計算しております。

希薄化後1株当たり四半期利益の金額は、親会社の普通株主に帰属する四半期利益を、当四半期連結累計期間における基本的加重平均発行済普通株式数に、全ての希薄化効果を有する潜在的普通株式が普通株式へ転換された場合に発行されるであろう普通株式の加重平均値を加えたもので除して計算しております。

なお、基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定において、役員報酬BIP信託が所有する当社株式を自己株式として処理していることから、基本的加重平均普通株式数から当該株式数を控除しております。

基本的1株当たり四半期利益及び希薄化後1株当たり四半期利益の算定上の基礎は、以下の通りであります。

	前第2四半期連結累計期間 自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	当第2四半期連結累計期間 自 2020年3月1日 至 2020年8月31日
		(百万円)
親会社の所有者に帰属する四半期利益	3,707	4,250
親会社の普通株主に帰属しない金額	—	—
基本的1株当たり四半期利益の計算に用いられた 四半期利益	3,707	4,250
希薄化後1株当たり四半期利益の計算に用いられた 四半期利益	3,707	4,250
		(株)
基本的加重平均普通株式数	73,516,616	73,519,241
希薄化性潜在的普通株式の影響		
ストック・オプションによる増加	524,605	474,303
役員報酬BIP信託による増加	14,747	20,388
希薄化効果調整後の加重平均普通株式数	74,055,968	74,013,932
		(円)
親会社の普通株主に帰属する1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益	50.42	57.82
希薄化後1株当たり四半期利益	50.06	57.43

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。